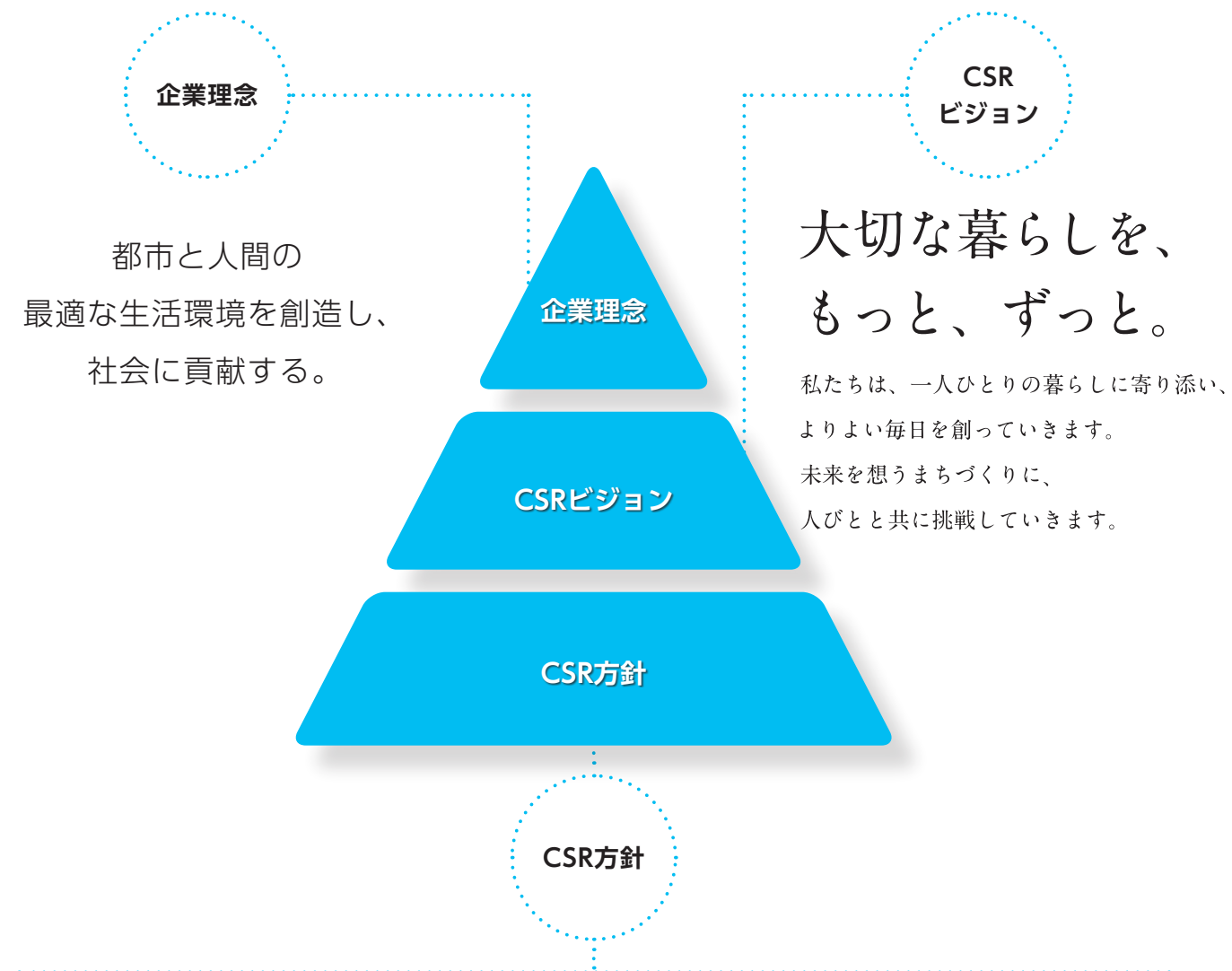


# 長谷工グループのCSRマネジメント

私たち長谷工グループは、長期的な視点に立ち、暮らしを取り巻く社会課題を、事業を通じて解決していくことを目指しています。  
住まいと暮らしの創造企業グループとして、企業理念の実現に向け、CSRビジョンのもとCSR活動を推進し、持続可能な社会に貢献していきます。



私たち長谷工グループは、CSRビジョンの実現に向け、次の方針のもとに、CSRへの取り組みを推進していきます。

1. 住まいと暮らしに関わる幅広い事業を通じて、持続可能な社会の実現に貢献します。
2. 環境や社会に配慮した事業プロセスの実現に向けた取り組みを、ステークホルダーと協働して推進します。
3. 生活者をはじめとする様々なステークホルダーの期待に応え、社会に新たな価値を生み出し続けるために、グループ総合力を最大限に活かすマネジメントを強化します。
4. 企業活動のすべてにおいて、高い倫理観のもとに、法令遵守を徹底します。
5. CSR取り組みの継続的な改善を図っていくとともに、情報開示を積極的に進め、組織としての透明性を高めます。

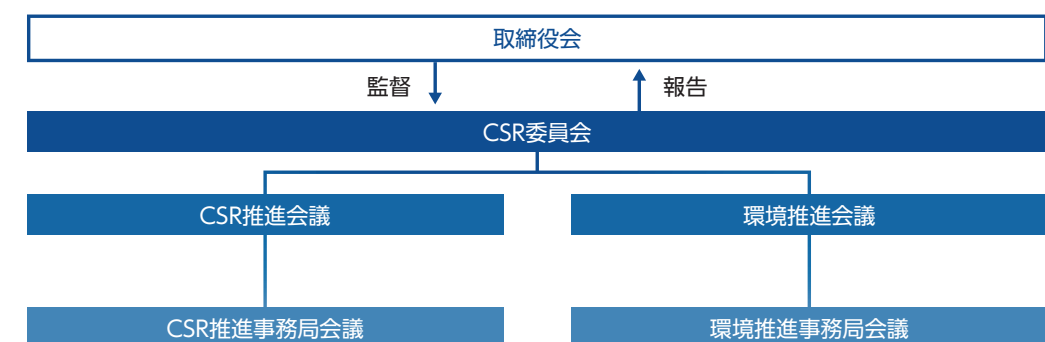
**グループ総合力** CSRへの取り組み推進の核となるのは、私たちが大切にしている「グループ総合力」です。



## CSRマネジメント体制

長谷工グループではCSRを重要な経営課題と位置付けており、マネジメント体制の運用を通じてCSR活動の組織的な進捗を図っています。  
長谷工コーポレーション社長が委員長となる「CSR委員会」で決定した内容は、「CSR推進会議」「CSR推進事務局会議」を通じてグループ全体の戦略として落とし込まれる仕組みとなっており、会議体メンバーを中心としてグループ全体でのCSR活動の進捗・浸透に取り組んでいます。  
また、2022年3月期から新たに取締役会による監督体制を設け定期的に報告することとし、「CSR委員会」の下部組織として、「CSR推進会議」「CSR推進事務局会議」に加え、脱炭素やエネルギー・環境技術などの環境施策に対応する「環境推進会議」「環境推進事務局会議」を設置しました。CSR活動と連動し、経営戦略として環境課題への取り組みをより強力に進めていきます。

マネジメント体制図



## 長谷工グループCSR行動計画

CSR経営を実践するための具体的な取り組みとして、「長谷工グループCSR行動計画」を定め、進捗を図っています。CSR行動計画は、「4つのCSR取り組みテーマ」を基本構造としており、テーマごとに定めた「2037年（創業100周年）ありたい姿」に向かっていくための取り組み項目と、その達成度合いを測る指標（KPI:重要評価指標）で構成しています。行動計画には、長谷工グループ全体の事業活動を盛り込んでおり、年度ごとに見直し・改善を行っています。  
2020年2月に中期経営計画（NS計画）が策定され、CSRと経営方針の連動をより一層図るため、行動計画の見直しを行いました。  
▶ 2020年度の目標および実績は、P20、21で報告します。

## CSR経営の確立に向けて ―中期経営計画「HASEKO Next Stage Plan」

長谷工グループは、「住まいと暮らしの創造企業グループ」としての更なる飛躍を目指して、2020年2月、長谷工グループ長期ビジョン～2030年3月期に目指す姿～と、その実現に向けた中期経営計画「HASEKO Next Stage Plan（NS計画）」を策定しました。  
重点戦略として「CSR経営への取り組み」を掲げ、企業経営との更なる連動を図ることで、長谷工グループの持続的成長を目指していきます。

**住まいと暮らしの創造企業グループにおける更なる飛躍を果たすべく、以下の取り組みを進めていきます。**

### 重点戦略6. CSR経営への取り組み

- ① 事業を通じた課題解決によって「社会価値の創造」と「グループの成長」を両立させ、企業価値向上を実現
- ② 長期的な成長を図るうえで重要なESG要素と当社グループの強みをCSR取り組みテーマに取り纏め、CSRの目指す姿として推進